

シンポジウム5 全国大学病院高気圧酸素治療部(室)連絡会 の設置の必要性

鶴田良介¹⁾ 宮本正章²⁾

- | |
|---------------------------|
| 1) 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター |
| 2) 日本医科大学付属病院 循環器内科 |

【背景】

これまでに日本を代表する10校に、医学教育で高気圧酸素(HBO)治療はどのように教えられ、診療面で大学病院のHBO治療はどのように運営されているかを呈示していただいた。

【目的】

全国の大学病院に在籍する医師と本学会の関わり、病院へのHBO装置(1種/2種)の有無について調査し、本学会が大学病院のHBO治療に果たす役割について考える。

【方法】

高気圧酸素治療安全協会(以下、安全協会)の資料をもとに、個人情報に触れない範囲で本学会事務局に問い合わせ修正を加えた。

【結果】

本学会医師評議員、学会認定施設、安全協会のいずれかに関わっている大学が25校あった。そのうち1種装置が10校、2種が10校、なしが5校であった。その他、HBO装置を有する大学のうち本学会会員医師のいるものが10校、いないものが10校(全て1種装置)であった。

【提言】

以上の結果を踏まえて以下の提案を行い、理事会で既に承認を得た。HBO治療の卒前教育の標準化と安全かつエビデンスに基づく診療体制の確立をめざし、全国大学病院高気圧酸素治療部(室)連絡会を設置する。これは本学会または安全協会に関連した情報交換会である。参加者は当該施設の医師と可能であれば医師以外(看護師、臨床工学技士など)の最低でも1名ずつとする。設置基準は次のとおりとする。
①本学会の会員医師がいる施設の参加が原則で、新たな会員医師のいる大学には参加を促す。
②HBO装置の種類または装置の有無は問わない。
③開始2年

(2017~2018年)は山口大学が議長を務め、その後は12校(北海道、旭川、岩手、日医、東京医科歯科、群馬、東海、信州、岐阜、鹿児島、琉球、山口)が交替で議長を行う。④議長が議事録を作成し、この会議での成果を本学会で発表するか、または学会誌に報告する。⑤この会議の連絡・準備等の事務局を学会事務局におく。⑥会議参加のためには学会参加証が必要である。⑦オブザーバー参加も認める。⑧5年後(2021年)に継続を含め、運用を見直す。